

災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意
- むやみに動かず安全を確認
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に
(火を扱っている場合は、身の安全を確認した上で火の始末を)
- エレベーターは使用せず階段で避難
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動
- 負傷者の救護や初期消火に協力
- 家族との安否確認および大学へ安否連絡

地震発生直後は裏面へ

大学への連絡方法

落ち着いたら大学へ安否を知らせる

大地震（震度5弱以上）が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。地震発生時に登録していない場合は、連絡可能になり次第、下記のアドレスにメールで大学に連絡して下さい。（メールが使用できない環境の場合は、葉書を郵送して下さい。）

※電話、FAXでの報告は極力控えること。

メール等による報告

- 戸畑キャンパスの学生
koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
(〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1 工学部学生係宛)
- 飯塚キャンパスの学生
jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
(〒820-8502 飯塚市川津 680-4 情報工学部学生係宛)
- 若松キャンパスの学生
sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp
(〒808-0196 北九州市若松区ひきの 2-4 生命体工学部研究科学生・留学生係宛)

報告事項

① 標題(安否報告) ② 氏名 ③ 学番号 ④ 本人・家族の状況 ⑤ 自宅や避難場所の状況 ⑥ 避難している場合は避難先の住所・連絡先等 ⑦ その他(困っていることなど)

※大学からの安否確認のため、履修登録時に LiveCampus に表示されるタイアログボックスにて、メールアドレスを登録して下さい。

日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認(災害時徒歩 約 2.5 km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認(大学および通学途中)
- 転倒防止策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルは、本学ホームページよりプリントアウトできるもので、ご家族にも事前にお伝え下さい。
http://www.kyutech.ac.jp/campuslife/jishin_manual.html

緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金(小銭も)
- アドレス帳(家族、友人の連絡先を記入)
- 健康保険証
- 雨具(カッパなど)
- 学生証(免許証なども)
- 両足(カッパなど)
- タオル・ぼんそうこう・包帯
- 携帯充電用 USB ケーブル
- 手回し充電ラジオ・ライト
- ポリエチレン製ごみ袋
- ティッシュ・ウエットティッシュ
- 油性マジックペン
- 非常用保温アルミシート
- チョコレート・あめなど

その他非常時に必要なアイテム

- 非常用食料・水
- 上着・下着・靴下
- 貯金通帳
- リュック
- 印鑑
- 懐中電灯
- 常用薬とその処方箋
- ろうそく
- 運動靴
- 缶切り・栓抜き
- スリッパ
- 洗面用具
- 卓上コンロ
- 使い捨てカイロ
- ひも・ロープ
- 軍手
- 予備電池
- マスク
- ライター
- ホイッスル
- わりばし

メモ欄

※ 記入は油性のペンを使用して下さい。

大規模地震 対応マニュアル

SAFETY GUIDE

福岡県内において、建物の損壊や交通機関に大きな被害が生じるような地震(震度5弱以上)が発生した場合は、本マニュアルを参考にして、身の安全を守り、落ち着いて行動して下さい。
なお、本マニュアルは、財布等に入れておくなど、常に携帯しておいて下さい。

平成 28 年 4 月版

家族への連絡方法

NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。

利用方法



市外局番 電話番号 事前に記入しておきましょう

※被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末 / NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数 / 1 電話番号あたり 1 ~ 10 伝言
- 録音時間 / 1 伝言 30 秒以内
- 伝言保存期間 / 2 日間 (48 時間 * 自動消去)

事前の登録が必要です!(事前にテストをして下さい)

携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービス。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

各社の QR コード

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
Y!mobile <http://dengon.ymobile.jp/>

緊急時パーソナルメモ

氏名 学部等

学科等 学籍番号

住所

電話番号 緊急連絡先

生年月日 血液型 Rh ()

持病 あり ()
..... なし ()

常用薬 あり ()
..... なし ()

アレルギー あり ()
..... なし ()

自宅近くの避難場所

家族との待ち合わせ場所
家族と共有しておきましょう

※記入は油性のペンを使用して下さい。

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②



地震発生
身を守る

ポイント

今いる場所は
本当に安全？

YES
その場所を動かない

NO
避難場所へ避難する

ポイント



**家族との
安否確認**
※裏面参照

ポイント

自宅に歩いて
帰れる？

YES
自宅へ

NO
避難場所へ



**大学へ
安否連絡**
※裏面参照

大学にいたるとき

大きな揺れを感じたら

■危険物から離れる

窓や棚、ガラスなど、割れたり、中のものが飛び出しそうなものから離れる。

実習中や課外活動中などで、周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。

■落下物から頭と手足を守る

机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして、頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。

■出口を確保する

余裕がある場合は、ドア付近にいる人がドアを開け、出口を確保する。

■揺れがおさまるのを待つ

安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

揺れがおさまったら

■冷静に、落ち着く

余震の可能性もあるので、あわてずしばらく様子を見る。

■周囲の状況を確認

周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、動かない方が安全。危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。

■初期消火

火災が発生している場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。

■負傷者の救護

負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。

避難するときは

■「おかしも」を守る

「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着いて避難する。その際、避難に支障が出る大きな荷物は持たない。

■火災が発生している場合

煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。

■階段で移動

エレベーターは使用せず、階段で移動する。

●避難中は警察や消防の指示に従う。

●避難は徒歩で、荷物は最小限に。

(火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末を)

●正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。

●エレベーターを使用せず階段で避難する。

●負傷者の救護や初期消火に協力する。

●大学へ安否連絡を行う。(裏面参照)

家族の電話番号

—	—
—	—
—	—
—	—

※記入は油性のペンを使用して下さい。

大学を基点とした避難場所

避難場所は、広く、火災による延焼の恐れがないところが適しています。

大学では、あらかじめ以下の場所を避難場所として想定していますが、地震時の状況により安全な場所へ避難して下さい。

戸畑キャンパス

避難場所▶▶ グラウンド

飯塚キャンパス

避難場所▶▶ グラウンド

若松キャンパス

避難場所▶▶ グラウンド

帰宅する？大学に残る？

余震がおさまり落ち着いたら、大学の指示を待って、自宅に帰るか検討する。交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになるが、その場合の目安は20km。(20kmよりも遠い人は避難場所へ。)

また、チェーンメールなどに惑わされず、ラジオ・テレビなどで正確な情報を収集する。その後、大学へ安否連絡を行う。(裏面参照)



●多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅しましょう。

●災害時の歩行速度は約2.5km/h。10kmは4時間を要することになります。

●日没後の行動は危険です。夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けましょう。

(目安)

月日	日の出	日没
3月20日	06:22	18:30
6月20日	05:08	19:32
9月20日	06:05	18:18
12月20日	07:18	17:14

※悪天候の場合は1時間早く暗くなります。

通学中・外出時

●周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。

●塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。

●むやみに動かず安全を確保する。

●被害状況を正しく把握する。

●事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。